

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	学部の学科の設置							
フリガナ 設置者	コウリツダイガクホウジントヤマケンリツダイガク 公立大学法人富山県立大学							
フリガナ 大学の名称	トヤマケンリツダイガク 富山県立大学 (Toyama Prefectural University)							
大学本部の位置	富山県射水市黒河5180番地							
大学の目的	<p>広く知識、技術を受け、高度な専門の学芸を深く教授研究するとともに、多様な個性の開発を促し、人間性豊かな、想像力と実践力を兼ね備えた有為な人材を育成し、併せて、学術と生活、文化、産業、保健、医療等との有機的連携を進め、科学技術の拠点として、学術文化の向上と社会の発展に寄与することを目的とする。</p>							
新設学部等の目的	<p>1 電気電子工学科は、持続可能で豊かな社会を支える電気電子工学に関連する教育研究を推進し、電気電子工学分野の基礎と実践的応用力を備え、高度な技術開発を通じて、地域に貢献し国内外で活躍できる人材を育成することを目的とする。</p> <p>(1) 教育理念 電気電子工学の基礎学力を基盤として、応用力と実践力を備え、持続可能で豊かな社会の構築に貢献できる、創造的で広い視野と豊かな教養を身につけた人材を育成する。そのために、体系的なカリキュラムに基づき、電気電子工学分野の基礎を習得したうえで専門性を深める。さらに、少人数のゼミや卒業研究に主体的に取り組むことによって課題発見と解決の能力を向上させる。</p> <p>(2) 養成する人材像 1. 社会・文化・自然・環境についての理解を深め、豊かな人間性を有する人材 2. 自然科学と電気電子工学分野の基礎的学力を有する技術者 3. 電気電子工学に関連する幅広い知識と専門的学力を有する技術者 4. 様々な課題の解決のために、論理的に考え、記述・発表・討議し、主体的に取り組むことのできる技術者 5. 幅広い視野とコミュニケーション力を有し、社会における技術者の役割と責務と重要性を理解する人材</p> <p>2 情報システム工学科は、富山県内の産業分野で需要が高い情報工学の基礎を幅広く教育するとともに、高度な情報システム技術の研究を推進し、これらを通じて最先端の情報システムに関わる創造力と実践力を備え、グローバルな活躍と地域への貢献ができる人材を育成することを目的とする。</p> <p>(1) 教育理念 情報システム工学の基礎学力を基盤として、新技術の開発に寄与し、人の役に立ち、社会の問題解決に貢献できる、広い視野と豊かな教養を身につけた人材を育成する。そのために、数学や物理学、語学などの基礎学力を教授し、創造性、主体性、協調性を涵養するための精選された専門性の高い講義を提供する。学年進行と協調する創成的実験課題の実施および少人数教育体制により、情報システム工学の体系的な知識を教授し、応用力と実践力を養成する。</p> <p>(2) 養成する人材像 1. 社会人として広い視野を有し、高度情報社会における技術者の役割と社会的責務と重要性を理解する技術者 2. 情報システム工学の基礎となる物理学、数学など自然科学の基本法則を理解した技術者 3. 情報システム工学分野の幅広い基礎知識と専門知識を有し、この分野で指導的な職責を果たせる技術者 4. 論理的思考能力を有し、問題解決や研究課題の遂行を合理的に推進できる技術者 5. 語学力や幅広いコミュニケーション能力を有し、社会および地域から要請される問題にも自主的に取り組むことができる技術者</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	工学部 [Faculty of Engineering]	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	電気電子工学科 [Department of Electrical and Electronic Engineering]	4	45	—	180	学士(工学)	令和2年4月 第1年次	富山県射水市黒河5180番地
情報システム工学科 [Department of Information Systems Engineering]	4	45	—	180	学士(工学)	令和2年4月 第1年次	富山県射水市黒河5180番地	
計		90		360				

同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		工学部 電子・情報工学科 (廃止) (△80) ※令和2年4月学生募集停止								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	電気電子工学科	79科目	39科目	7科目	125科目	130単位				
	情報システム工学科	80科目	39科目	6科目	125科目	130単位				
教員 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設 分	工学部 電気電子工学科		5 (5)	4 (4)	4 (4)	2 (2)	15 (15)	- (-)	3 (3)
		情報システム工学科		4 (4)	6 (6)	2 (2)	3 (3)	15 (15)	- (-)	1 (1)
		計		9 (9)	10 (10)	6 (6)	5 (5)	30 (30)	- (-)	- (-)
	既設 分	工学部 機械システム工学科		6 (7)	10 (10)	3 (3)	2 (2)	21 (21)	- (-)	2 (2)
		知能ロボット工学科		6 (6)	7 (7)	7 (7)	1 (1)	21 (20)	- (-)	2 (2)
		環境・社会基盤工学科		6 (6)	10 (10)	4 (4)	0 (0)	20 (20)	- (-)	5 (5)
		生物工学科		7 (7)	4 (4)	4 (4)	6 (6)	21 (21)	- (-)	20 (20)
		医薬品工学科		7 (7)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	12 (12)	- (-)	2 (2)
教養教育センター		4 (4)	18 (18)	7 (7)	0 (0)	29 (29)	- (-)	60 (60)		
看護学部 看護学科		7 (7)	9 (9)	17 (17)	15 (15)	48 (48)	3 (3)	74 (74)		
計		43 (44)	60 (60)	45 (45)	24 (24)	172 (171)	3 (3)	- (-)		
合計		52 (53)	70 (70)	51 (51)	29 (29)	202 (201)	3 (3)	- (-)		
教員 以外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事務職員		54 (54)		0 (0)		54 (54)			
	技 術 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	図 書 館 専 門 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	そ の 他 の 職 員		2 (0)		0 (0)		2 (0)			
計		56 (0)		0 (0)		56 (0)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地	120,135 m ²	0 m ²	0 m ²		120,135 m ²				
	運 動 場 用 地	44,450 m ²	0 m ²	0 m ²		44,450 m ²				
	小 計	164,585 m ²	0 m ²	0 m ²		164,585 m ²				
	そ の 他	45,285 m ²	0 m ²	0 m ²		45,285 m ²				
合 計	209,870 m ²	0 m ²	0 m ²		209,870 m ²					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
		74,168 m ² (83,266 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)		74,168 m ² (83,266 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	49室	90室	144室	4室 (補助職員 - 人)	2室 (補助職員 - 人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数					
		電気電子工学科			15 室					
		情報システム工学科			15 室					

大学全体
・事務職員に
は、図書館専任教
員1人を含む。
・その他の職員は
自動車運転手
・図書館専門職員
及び守衛について
は、委託先から職
員を派遣

・令和2～3年度は、富山
キャンパスを富山県立総
合衛生学院(収容定員
/R2:140
人、R3:40人、富山県の面
積基準なし)と共用
・富山キャンパスの土地
(11,858m²)及び建物
(14,495m²)について
は、県からの無償貸与
(3年毎の自動更新)

大学全体

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体
		冊	種	種	種					
		電気電子工学科	187,252 [46,575]	3,673 [1,354]	1,931 [1,904]	1,574	99,522	—		
		情報システム工学科	187,252 [46,575]	3,673 [1,354]	1,931 [1,904]	(1,574)	(99,522)	(—)		
計	187,252 [46,575] 187,252 [46,575]	3,673 [1,354] 3,673 [1,354]	1,931 [1,904] 1,931 [1,904]	1,574 (1,574)	99,522 (99,522)	— (—)				
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
		3,457 m ²		427 席		18.9万冊				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		1,772 m ²		フィットネスルーム392m ² (兼講堂)		テニスコート3面				
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	共同研究費等、設備購入費は工学部全体、図書購入費は大学全体	
		教員1人当り研究費等	470千円	467千円	465千円	463千円	—千円	—千円		
		共同研究費等	116,922千円	116,922千円	116,922千円	116,922千円	—千円	—千円		
		図書購入費	61,740千円	61,123千円	60,512千円	59,907千円	59,308千円	—千円		—千円
	設備購入費	69,070千円	68,380千円	67,696千円	67,019千円	66,349千円	—千円	—千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		県内	724千円	536千円	536千円	536千円	—千円	—千円		
県外	818千円	536千円	536千円	536千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			奨励寄附金、受託研究費、電源立地交付金等のほか、不足する分については富山県の運営交付金を充てる。							
既設大学等の状況	大学の名称		富山県立大学							
	学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	工学部		年	人	年次人	人		倍		
	機械システム工学科		4	60	—	240	学士(工学)	1.06	平成2年度	富山県射水市黒河5180番地
	知能ロボット工学科		4	60	—	240	学士(工学)	1.04	平成18年度	
	電子・情報工学科		4	80	—	290	学士(工学)	1.07	平成18年度	
	環境・社会基盤工学科		4	55	—	220	学士(工学)	1.03	平成21年度	
	生物工学科		4	40	—	160	学士(工学)	1.08	平成18年度	
	医薬品工学科		4	35	—	105	学士(工学)	1.05	平成29年度	
	看護学部									富山県富山市西長江二丁目2番78号
	看護学科		4	120	—	240	学士(看護学)	1.02	平成31年度	
	大学の名称		富山県立大学大学院							
	学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	工学研究科		年	人	年次人	人		倍		
	(博士前期課程)							0.96		
機械システム工学専攻		2	17	—	34	修士(工学)	0.94	平成6年度	富山県射水市黒河5180番地	
知能デザイン工学専攻		2	17	—	34	修士(工学)	0.94	平成18年度		
情報システム工学専攻		2	17	—	34	修士(工学)	1.11	平成18年度		
環境工学専攻		2	12	—	24	修士(工学)	0.70	平成25年度		
生物工学専攻		2	15	—	30	修士(工学)	1.06	平成8年度		
(博士後期課程)							0.53			
機械システム工学専攻		3	4	—	12	博士(工学)	0.33	平成8年度		
知能デザイン工学専攻		3	4	—	12	博士(工学)	0.66	平成18年度		
情報システム工学専攻		3	4	—	12	博士(工学)	0.16	平成18年度		
環境工学専攻		3	2	—	6	博士(工学)	0.83	平成27年度		
生物工学専攻		3	4	—	12	博士(工学)	0.83	平成10年度		
附属施設の概要		該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の出定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 6 空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。